

## 巻頭言

会長 嘉ノ海 龍三

日本小児歯科学会近畿地方会 会員の皆様へ本年より近畿地方会の会報をお届けし、会員の皆様方への相互の親睦をはかりたく、発行の運びとなりました。これも一重に近畿地方会幹事の先生方のお陰と感謝する次第です。

私は今年から会長の役を仰せつかっておりますが、近頃の小児歯科臨床について、会員の皆様はどのように感じていらっしゃるのでしょうか？

私事で恐縮ですが、私が大阪歯科大学の稗田教室にお世話になっている頃は、まさに、むし歯の洪水の時代でして、日々、根管治療と乳歯の残根の抜歯等に明け暮れ、小児DentureやCr-loop、乳歯冠の花盛りで、保隙や永久歯の連続抜去なるものを咬合誘導と称して行なっておりました。あの頃は十分な時間がなく、一人一人の患者さんに十分なことがしてあげられたかどうか疑わしい限りでした。泣く子の治療に際しても、レストレーナーや押さえつけることが日常であったように記憶しております。

それに比べると、近ごろは患者毎に対処する十分な時間とインフォームドコンセントが得られているように思います。そういう意味では小児歯科本来の医療体制になってきたのではないのでしょうか？少子化のため患者が減ってきたと嘆かれる先生もいらっしゃると思いますが、ピンチがチャンスが始まりとも申します。「だからやっぱりさすが小児歯科」と選択される専門医、尊敬される歯科医師になるために、私達は努力を惜しみません。

今後とも、皆様と力を合わせて小児歯科医療の発展と患者の未来、そして、次世代を担ってくれる若い先生方や歯学生やコ・デンタルの皆様方に夢と希望を与えるために、情報の提供と交換の道具として、ニュースレターの役割をこの会報が担ってくれることを期待しております。最後になりましたが、皆様の益々の御清栄と御健康を祈願して、会報の発行を記念し挨拶とさせていただきます。

## 第21回日本小児歯科学会近畿地方会大会のご案内

大会会長 中村 弘之

第21回日本小児歯科学会近畿地方会大会・総会が平成14年9月29日(日)に京都府歯科医師会口腔保健センターで開催される事になりました。この京都大会で、大学と近畿地区2府4県を一巡した事になります。この間、小児歯科臨床におきましても疾病構造の変化、即ち従来の齲蝕治療を主体としたものから、健全な口腔の成育医療へと過渡期を迎えております。この点を踏まえて「これからの小児歯科の展望、小児期からの口腔機能の育成と口腔管理」をメインテーマにし、「小児歯科医は何を成すべきか」を共に議論する会にしていきたいと考えております。

そこで今回は、この分野の第一人者である、中田 稔教授に「成長発達期の口腔管理」と題して特別講演を、教育講演として、学校歯科の口腔管理について尼崎市開業の亀井有太郎先生にご講演頂きます。また、シンポジウムとして、「小児歯科医は何を成すべきか?」をテーマに佐々木 洋先生には「育児支援と口腔の育成」、高橋 勉先生には「咬合管理」、岡崎好秀先生には「時間軸から予防プログラムを考える」という演題で、お話し頂き、これからの小児歯科について、皆様方と共に考えたいと存じます。

また今回は、全く新しくコ・デンタルスタッフセミナーとして、実技指導を伴うハンドオンセミナーを企画致しました。

セミナーには次の4つのコースを用意致しました。

- ① M F T (Myofunctional Therapy 筋機能療法)  
「小児歯科における口腔筋機能の管理」  
カノミ矯正・小児歯科クリニック 歯科衛生士 住川愛美先生  
対象 DA、DH
- ② P M T C (Professional Mechanical Tooth Cleaning)  
「小児歯科でも P M T C」  
株式会社オーラルケア 歯科衛生士 園田亜里砂先生 対象 DH
- ③ 媒 体  
「8020 普及啓発用教育媒体作成 -明日からすぐ役立つ媒体作り-」  
(社) 京都府歯科衛生士会 副会長 佐々木妙子先生  
対象 DA、DH
- ④ F・D・M・R system (Flouride delivery system with mouth retainer)  
「加熱吸引型マウスリテーナーによる齲蝕予防法について」  
大阪歯科大学小児歯科学講座助教授 嘉藤幹夫先生  
対象 DA、DH、DT、DR

これらのコースの講師は各々の分野を代表する方ばかりです。これからの小児歯科臨床において、医院のシステム作りに必ずや役立てて頂けるものと確信致しております。

どうか大勢の皆様方の御参加をお願いしつつ、秋の京都でお会いできる事を楽しみにしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、今回の学会は多くの団体、大勢の方々の御協力、御援助にて運営できます事を心から感謝申し上げます。

## 第21回日本小児歯科学会近畿地方会大会・総会

日時；平成14年9月29日（日） 午前9時15分～

場所；京都府歯科医師会口腔保険センター

I；開会

I；会長挨拶

I；議長選出

I；報告事項

・庶務報告（平成13年度）

・その他

I；議案

・平成13年度予算案承認の件

・監査報告

・平成13年度予算案承認の件

・次期会長承認の件

・次期大会開催承認の件

I；閉会

## <教室紹介>

### 大阪歯科大学小児歯科学講座の紹介

本講座は、昭和35年4月より保存科小児歯科診療室として診療科より発して、昭和43年5月（1968年）に稗田豊治先生が初代教授として就任されてから本年度で34年間の歴史を有しております。また、平成5年9月（1993年）より二代目教授として大東道治先生が就任されて9年目になります。現在の講座医員は、教授、助教授、講師2名、助手5名、大学院生3名、非常勤講師19名、専攻生9名、常勤研修医員6名および非常勤研修医員17名の計63名であります。

小児歯科学会では、平成11年5月に第37回日本小児歯科学会大会を楠葉学舎にて担当し、多数の参加者があり盛況でありました。現在、大東道治教授は常務理事、嘉藤幹夫助教授は評議員、認定委員会委員と広報委員会委員として活躍中であります。また、近畿地方会は20年間の歴史のうち7回大会を主催しています。障害者歯科学会では、大東道治教授は理事、嘉藤幹夫助教授は評議員となっています。

基礎教育は、4学年時に時間数30コマ（講義：20コマ、実習：8コマ、実習説明：2コマ）を行っています。講義は、大東道治教授が教授要綱を基に出生前から18歳までの口腔管理と個人正常咬合の確立などを中心に行っており、障害者歯科学についても講義しています。実習は、全医局員と非常勤講師が、乳歯の窩洞形成、乳歯用冠、保隙装置（小児義歯）や咬合誘導装置の作製などを行っています。

臨床教育は、統合講義が5学年前半に時間数4コマで、顎・顔面の成長・発育、小児の遺伝性疾患、小児の齲蝕処置と小児の歯周疾患を講義しています。プレクリ実習が5学年前半に時間数2コマで、内容は歯冠幅径と歯列弓の計測、パノラマエックス線のトレースにより乳歯列の診断と混合歯列の診断を天満橋学舎附属病院で行っています。臨床実習が5学年後半と6学年前半に8コマずつで、小児歯科に関する基礎問題を予習課題として提出させ、小児患者の診査資料より診断と治療計画を立てさせています。

診療は、初診、診査、診断（治療計画）、治療と定期検診によるシステム化されたアポイント方式をとっています。近年、齲蝕予防と定期検診の充実に伴い、小児患者の重症な齲蝕が減少してきております。そして、歯内療法や抜歯も同様減少してきていますが、食餌習慣や生活環境の変化により歯列や咬合の異常を訴える患者が多くなり、乳歯列期、混合歯列期と永久歯列期（第二大臼歯咬合完成）における咬合発育・育成・管理が重要であり、多方面にわたる咬合誘導処置を行っています。初診では歯の外傷が多く、歯の修復や整復・固定を行うことにより乳歯や永久歯を保存し、後継永久歯の正常な萌出の誘導を行っています。また、顎関節異常も多くなっており臨床的診査のほかCTやMRI撮影による画像診断を行いスプリント装置などで治療をしています。さらに、平成10年4月の新病院完成後より障害者歯科診療室が小児歯科学講座傘下で新設されました。小児歯科が多数の障害児の歯科的処置だけでなく口腔全般の管理を行う役割も担っていま

す。重症心身障害者に対しては歯科麻酔科にて静脈鎮静麻酔法や全身麻酔法で歯科診療を行っています。

研究は、小児歯科学と障害者歯科学分野など多方面にわたり、現在、糖尿病妊婦・覚醒剤常習妊婦が母体および胎児に及ぼす影響についての研究を大学院生が中心に行っております。特に、基礎研究では、歯の萌出時における歯根基端部での細胞増殖・分化についての実験的研究、線維芽細胞のサイトカイン分泌と、血液細胞の分化増殖に対するペスナリノンの影響、Methamphetamine 胎生期投与ラットの口腔組織における形態的变化、ヒト歯髓培養細胞における *Streptococcus mutans* による細胞死の誘導、永久歯の石灰化に関する研究などがあります。一方、小児歯科臨床研究として、小児の咀嚼機能に関する総合的研究、有限要素法による歯および顎骨外傷時の応力解析、乳歯咬合治療時の顎関節部の変化、歯の欠如の統計的分類、小児の外傷（顎骨骨折）の特徴、小児の歯ブラシの歯口清掃による歯垢除去効果、乳歯の処置法の相違による永久歯胚の石灰化及び萌出時期の影響、血流計を用いた小児歯肉炎に関する臨床的研究などがあります。障害者歯科の研究として、障害者と歯周疾患との関連性、障害者歯科診療の実態調査、障害者歯科における行動変容の試み、自閉症患者に対するブラッシング指導の試みなどを行っています。

最後に、大阪歯科大学小児歯科学講座は、2000年という新しい世紀に入り新しい環境に適した教育、診療および研究に対応していくように努力しており、近畿地方会の会員の先生方のお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともご助言ならびにご支援を頂きますようお願い致します。

(嘉藤幹夫 記)



# 各地方会大会案内

## 【第20回日本小児歯科学会北日本地方会大会】

開催日時；2002年9月28日（土）  
会場；東北大学医学部 艮陵会館  
仙台市青葉区広瀬町3番34号  
Tel. 022-227-2721  
大会会長；真柳 秀昭  
準備委員長；猪狩 和子  
事務局；東北大学大学院歯学研究科  
発達加齢・保健歯科学講座小児発達歯科学  
Tel. 022-717-8381  
Fax. 022-717-8386  
教育講演；「小児歯科における笑気の有用性」  
講師 田中 光郎先生  
岩手医科大学歯学部小児歯科学講座  
特別講演；「問題を持つ子供を育むーADHD  
の理解を通してー」  
講師 横山 浩之先生  
東北大学医学部附属病院小児科

## 【第17回日本小児歯科学会関東地方会大会および総会】

開催日時；2002年10月6日（日）  
会場；国立オリンピック記念青少年総合センター棟 4F  
大会会長；丸山 進一郎  
準備委員長；田中 英一  
事務局；田中歯科クリニック  
Tel. 03-5380-3640  
メインテーマ；  
「みんなで考えよう、これからの小児歯科」  
参加型学術ミーティング（バズセッション）  
基調講演；「小児科医 今までの変遷、これからの展望」  
講師 松平 隆光先生（松平小児科院長）  
日本小児科医会 常任理事

## 【第21回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会】

- 1) 準備委員会と役割  
大会会長；青戸 泰吉  
準備委員長；渡邊 公人  
担当；岡山大学大学院医歯学総合研究科  
行動小児歯科分野
- 2) 開催予定日  
(1) 大会および総会；2002年11月3日（日）  
(参加費 3,000円)
- 3) 学会会場；島根県歯科医師会館  
(〒690-0884 松江市南田町141-9)
- 4) 大会内容  
(1) 総会 (2) 一般口演 (3) 展示発表  
(4) 特別講演；  
「なるほど・ザ・保健指導」  
岡崎 好秀先生  
(岡山大学歯学部附属病院小児歯科)  
(5) 教育講演 I；  
「今話題の患者とのコミュニケーション法」  
吉田 登志子先生  
(岡山大学大学院医歯学総合研究科  
行動小児歯科)  
教育講演 II；  
「アメリカの小児歯科専門医ー How are pediatric dental practices in US?」  
仲井 雪絵先生  
(岡山大学大学院医歯学総合研究科  
行動小児歯科)  
教育講演 III；  
「12年に渉るモンゴルとの国際医療交流からもらったもの」  
黒田 和博先生  
(神戸医療生協歯科小児歯科部長)  
(6) 懇親会；2002年11月2日（土）  
19:00~20:30  
松江東急イン（参加費 5,000円）

【第20回日本小児歯科学会九州地方会大会  
および20周年記念式典】

第20回日本小児歯科学会九州地方会および  
20周年記念式典について（案）

1) 準備委員会と役割

大会会長；増田 純一

準備委員長；久芳 陽一

準備委員；県代表委員

福岡歯科大学成長発達歯学講座

小児歯科学分野

2) 開催予定日

(1) 大会および総会；2002年11月3日（日）

午前9時より

(2) 懇親会；2002年11月3日（日）

午後1時より

3) 学会会場；福岡県歯科医師会館

（福岡市中央区大名1-12-43）

4) 大会内容

(1) 20周年記念式典

(2) シンポジウム

(3) 特別講演；小椋 正先生

（鹿児島大学歯学部名誉教授）

特別講演；後藤 譲治先生

（長崎大学歯学部名誉教授）

教育講演；中田 稔先生

（九州大学大学院歯学研究院教授）

(4) ポスター発表

【平成14年度小児歯科学会認定医研修セミナー】

2002年9月29日 昭和大学・上条講堂

2002年11月10日 愛知学院大学・楠本講堂

第22回日本小児歯科近畿地方会大会の抱負

大会会長 梶本 祐一郎

次期大会長に推挙され、その責任の大きさに身の引き締まる思いです。齲蝕の減少と小子高齢化が進み、小児歯科を取り巻く環境も変化してきていると言われて久しくなります。わたしたち小児歯科医も認定医制度の改革など、新しい技術と知識の吸収に日々研鑽を積んでおります。

しかし、一方で患者さんや保護者の方の小児歯科への要求にも変化が現れてきました。健康志向と予防への関心の高まりから、従来の齲蝕の予防と処置だけではなく、より付加価値の高いサービスを求められるようになってきたと思います。小児歯科医の医療技術の向上だけではなく、スタッフを含めた診療所全体のクオリティーの向上が要求される時代になってきたと感じます。

スタッフの熱意そして知識と技術の向上こそがこれからの小児歯科の新しい発展につながるものと思います。こういう観点からも今回中村先生が新たに試みられたスタッフを対象としたセミナーは大変素晴らしいことです。来年の地方会もスタッフとともに研鑽の積める大会にしたいと考えています。近畿地方会から小児歯科の新しい波が作れればと思っております。第22回日本小児歯科近畿地方会は、平成14年の秋に大阪府南部の堺市で開催する予定にしております。是非、多数の宿題の申し込みと御参加を希望致しております。